

平成 2 1 年第 2 回南丹市議会 6 月定例会一般質問通告文書表

No. 1

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答弁者
丹政クラブ 中井 榮樹 (質問予定日) 6 月 9 日 午前	環 境	るり溪（通天湖）の水抜き対策について	通天湖の水汚染に苦しむ流域の住民達が、2 0 数年の夢を託して、9 3 8 名の署名と叫びに等しい嘆願書の願いは通じたのか。 今秋の実現は。「府民公募型公共事業」で汚泥の除去を。	市 長
	交 通	交通弱者に対するバス対策について	平成 2 1 年度末に J R 園部～京都間の複線化が予定されているが、J R 園部駅から周辺部へのアクセス手段としてのバス対応は。複線化により、京阪神へのアクセスが改善され、増員が予想されるが。	市 長
南風会 面村 則夫 (質問予定日) 6 月 9 日 午前	市政全般	地域活性化事業について	国において平成 2 0 年度、平成 2 1 年度と地域活性化経済危機対策予算が措置されたが、市長としてどうとらまえ、臨時交付金でどんな事業をされるのか。具体的には、地球温暖化対策、少子高齢化対策、安全・安心な社会実現などの施策を伺う。	市 長
	行 政	職員定数の適正化と職員の待遇改善について	職員定数適正化計画の進捗状況と国や他の自治体と比べ著しく低い給与をどう改善されるのか。	市 長
	教 育	1．学校改築計画と耐震改修について	危険校舎の改築計画と耐震改修計画は。	教 育 長
		2．学校規模の適正化について	小規模校、複式学級の状況など教育委員会としてどう取り組まれているか。	
活緑クラブ 高橋 芳治 (質問予定日) 6 月 9 日 午前	都市計画	八木駅西土地区画整理事業について	2 0 年度で取り組みされた業務、地区境界確定、一級河川東所川の法線、治水の為の調整池、都市計画の決定等の京都府、J R の協議の状況と問題点解決にむけた今後の対応は。 2 1 年度の事業計画の策定業務、八木駅舎の改築、西口交通広場、街路西口駅前通線の J R 西日本との協議状況と問題点の対応策は。	市 長
	住宅施策	南広瀬公営住宅について	昭和 2 5 年～3 3 年に建設された住宅で、公共下水道事業の計画がたたない状況で、住環境が非常に悪い。具体的プランが示されていないが今後のプランを伺う。	市 長
	福 祉	八木駅栈橋について	栈橋のバリアフリー化、エレベーターを設置する考えはないか。	市 長
		D V 被害者への定額給付金、子育て応援特別手当について	南丹市独自で救済する考えは。	
日本共産党 住民協働市会議員団 仲 絹枝 (質問予定日) 6 月 9 日 午後	子育て施策	保育所について	乳幼児には、きめ細かな保育が求められると思う。十分な職員体制で保育が行われているのか、現状を伺う。	市 長
		中学校給食について	心身ともに成長期にある中学生の給食実施を望む声がある。現在まで検討されてきた中身を伺う。	教 育 長
	福祉行政	障害者福祉について	1．障害者自立支援法の下で、障がいのある方、またその家族の方から今の暮らしへの不満や、将来への不安の声を聞く。身近なところで相談できる体制をつくる考えは。 2．発達支援センターでの事業がスタートしたが、現況と問題点を伺う。	市 長
	公共交通	地域公共交通会議について	平成 2 2 年春に、山陰本線の京都園部間が複線化されるのを目途に「効率的で、効果的な公共交通機関」を検討されてきたと思うが、中身を伺う。	市 長

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答弁者
丹政クラブ 谷 義治 (質問予定日) 6月9日 午後	地域医療	産婦人科の医師確保について	子育て支援のスタートとなる分娩施設が設置されている公立南丹病院の産婦人科は、絶対に必要。存続させるため医師の確保を。	市長
	市民生活	火葬場の建設について	府内外の火葬場を視察して、当市の施設があまりにもお粗末で、死者に対して申し訳なく感じた。早急に建設する必要がある。	市長
	企業等の誘致	京都新光悦村の企業誘致について	伝統と文化に根ざした企業・工場の進出は、又京都伝統工芸大学校の進出は確約できるか。地元南丹市も京都府とタイアップして、団地サービスセンターなどの施設を作り観光客誘致に努力すべき。	市長
		佛教大学の誘致その後について	当初計画にあった学部誘致が未だ実現していないどうなっているか。	
南風会 村田 憲一 (質問予定日) 6月9日 午後	土木	市道船岡熊原線の通行止めの解除についてと同線の大戸高屋間の着工はいつになるのか。	通称大坪（だいつぼ）大戸区と熊原区の間、約500mが平成13年より通行止めになったままである。10年近くも放置された状態の箇所は他には見られない。行政としても少し怠慢ではないか。市長はどの様に考えておられるか伺う。	市長
		府民公募型公共事業について	京都府は60億円の予算でもって、安心安全の向上を図る事を目的とした事業の公募をされているが、本市として公募に掛けても、審査に通るか分からないが、南丹市として、何件くらい提出されるつもりか伺う。	

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答弁者
活緑クラブ 川勝 儀昭 (質問予定日) 6月10日 午前	財政施策	臨時交付金について	20年度予算において地域活性化・生活対策臨時交付金の内1億3千万円が活性化推進基金に繰り入れられ、6月定例議会において予算化されている。その資金使途について、南丹市民に対し真の緊急的な景気雇用対策となるのか、市長の所見を伺う。 また、政府の21年度補正予算の臨時交付金についても市長の所見を伺う。	市長
	農林施策	池ノ内地区ほ場整備事業について	池ノ内地区のほ場整備事業は、予算化され5ヶ年で完了する予定であり、昨年度より実施されている。しかし、板野川改修事業という課題をかかえている。吉富駅西土地区画整理事業と府道竹井室河原線の改修計画との関連において、市長の所見を伺う。	市長
	防災施策	消防団の団員組織について	少子高齢化や限界集落との関連にも伴い、地域によっては消防団員の構成年齢が上昇し、団員定数の確保が困難な地域もある。この現実をどのようにとらえ、今後消防団組織を中心とする防災体制について市長の所見を伺う。	市長
日本共産党 住民協働市会議員団 高野 美好 (質問予定日) 6月10日 午前	行政	雇用対策について	1.「ふるさと雇用対策交付金」、「緊急雇用創出交付金」の活用策について ・一般会計補正予算（第1号）で、一部予算化されているが、今後の活用策は。 ・雇用創出という緊急性ある事業性格からして、本年度で完結すべきと考えるが。	市長
			2.「地域活性化・生活対策臨時交付金」の活用策について ・平成20年度一般会計補正予算（第5号）及び平成21年度補正予算（第1号）で、すべて予算化されたが、市民生活の安定にどの程度寄与できたと考えるか。 ・工事請負や備品購入などについて、地元中小事業者への対策は。	
			3.「地域雇用創出推進費（地方交付税）」の活用策について ・一般財源扱いであるが、事業内容について公表する意思はないか。	
丹政クラブ 森 為次 (質問予定日) 6月10日 午前	公園環境	スポーツ振興と施設整備について	市の社会体育施設（屋外）のうちで、利用者のためのトイレが近接か30m以内に常設、仮設（1箇所）で設置されているのが、ほとんどであるが、園部公園内の「テニスコート」、「イベント広場」、「防災公園」については、約250m～300m以上離れており、相当な不便をかけている状況です。諸問題（管の埋設、都市公園法）はあると思いますが、指定管理（出来なくとも受益者管理責任）制度の活用、また生涯スポーツ・健康維持での活用のためにも、設置に向けての考えは。 また、「イベント広場」の今後の有意義な活用のためにも施設整備が必要と思われるが、市長及び教育長の見解を伺いたい。	市長 教育長

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答弁者
	住民協働事業関係	イベント開催と今後の方針について	園部地内において、恒例となっていた住民参加型の龍神まつりが今年からなくなり、元気、感動の源がなくなった様なさびしさを感じます。市として国民文化祭の開催の成功という将来の目標がありますが、これにつながる地域イベントは考えられないのか。また、南丹市商工会が8月1日に夏まつり兼七夕祭を計画されていると聞きますが、各区に保管されている子どもみこしを活用できないのか。(歩行者天国に陳列) 住民協働による活性化事業について、担当部長の見解を伺いたい。	市 長 部 長
			また、先般、第12回日吉ダムマラソンが最多の参加を得て成功のうちに終了したわけですが、予算、実行委員会制での実施でよいのか。南丹市をアピールでき、住民に誇りを持ってもらうよい事業と考えますが、その他のイベントも含めて今後の方針を伺います。	市 長 教 育 長
	農林業振興	鳥獣被害防止、捕獲対策と農林業意欲について	平成20年9月定例会に続いての質問をします。 昨年度からの地元負担の軽減（府、市合わせて7/10の補助あり）及び予算において、約8千万円（補正含む）を計上され、防護の電柵、金網等の普及率も上って、農林業意欲の高揚に大いにつながっていると評価します。 しかし、地域内の生活、ほ場道路等いたるところに柵が設置されており、感電、車でのネット引っ掛け等、安心、安全面からも早急な手当てをしなければならないと考えます。関係団体、実務者とも連携を取り、防除施設の保守（資格者の支援）、生息地管理と共に、大々的な個体数（外来生物含む）調査及び個体数調整（捕獲）を市全体の事業（地域を決めての捕獲、捕獲器具の設置、購入補助）として位置付け、取り組むべきと考えますが、市長の対策方針を伺います。	市 長
南風会 中川 幸朗 (質問予定日) 6月10日 午後	経済対策	経済危機とその対策について	1. 経済危機による市内の雇用の状況や受注状況はどのような状態か、市としてどのような経済対策を実施していく考えか。(誘致企業等の地元住民の雇用状況や本市の失業率は合併当初と比べてどうか。) 2. 商工会や建設業会等との連携のもとでの活性化対策の実施が必要と考えるが状況はどうか。 3. 商工者の活性化のためには、商工会で実施している各事業へのバックアップや政策的な地元での売り上げ向上のためへの協力が必要と考えるが、市発注での協力の考えは。 4. 建設業への市の発注状況はどうか。(合併当初と比べての工事高。また市が負担をしているものも合わせて、市外、市内業者への発注状況。) 5. 臨時交付金等を生かした、政策的な事業による地元業者への発注機会の拡大や技術育成、営業指導等が必要であると考えるがどうか。 6. 伝統的建築技術の伝承、育成による、地元木材の利用促進について。 建築の在来工法において地元木材の使用に対する助成制度を創設し、地元木材の利用促進を考えては。また、在来工法は日本の伝統的な木造建築工法であり、大工をはじめとする、屋根葺き、左官、指物師等の貴重な技術を伝承するものである。市の発注においても伝統的建築技術の伝承、育成の観点から一定の発注枠を考えられてはどうか。	市 長

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答弁者
	交通・福祉	バス交通網体系の再構築と交通弱者への交通手段の確保について	1．ＪＲ複線化を契機として、南丹市全域でのバス交通網の構築（市民の交通手段の確保）をどう進めていかれる考えなのか。	市長
			2．市地域公共交通会議での進めの状況はどうか。（一定の方針は出されたのか）	
			3．園部八木線について、利用しにくい（時間帯・路線）等の声を聞く、八木町各区民の声を聞く中で、路線の拡張、時間帯の改善等により有効利用が出来ないか。	
			4．交通弱者対策としての交通手段の確保について、市がコーディネーターとして住民協働の中で実現できないか。（デマンドタクシー、特区指定による自家用車による有償運行システムの構築、NP0 法人による全市域への拡充等）	
活緑クラブ 松尾 武治 (質問予定日) 6月10日 午後	契約の執行	旧八木町の継続事業である防災行政無線整備事業は合併を機に全町に拡大された。多大な財政負担が伴う事業であり、合理的な施行方法など「自治法第2条第14項」の自治体の義務を含めた事業精査について。	1. 「19年度単年度の実施としたい」と南丹市は意向を示しながら、どのような経緯で八木地区、美山地区を2年度に分離して発注する事になったのか、経過と変更の理由を問う。（18年9月14日打ち合わせ会資料による）	市長
			2. 全市の基本設計ができた事で、債務負担等による一体的な発注が可能となった。先行受注業者が構築した施設への接続など、継続的に発注する際の競争性を阻害する要素が含まれている事や、入札に伴う事務量、契約の競争性から一括発注が合理的で財政負担が削減される。「自治法第2条第14項地方公共団体は、その事務を処理するに当つては、住民の福祉の増進に努めるとともに、最少の経費で最大の効果を挙げるようにしなければならない」と示されている。該当事業に対する見解は、3月議会で示された「裏付けとなる数値」を示し、市長の見解を改めて伺う。	
		契約の基本は一般競争入札であるが、八木地区は自治法施行令第167条第3項を適用させ指名競争入札を実施した。9社を指名、5社が辞退、4社が入札に参加した。続いて発注した美山地区は、条件付一般競争入札を実施したが、予定価格内での受注が困難と不調に終わった。補正後改めて条件付一般競争入札を実施し2社が入札の意向を示したが一社が辞退。結果1社入札となり「98.66%」となった。95%以上は要チェックと云われている。適正な入札について。	1. 「当初八木の防災行政無線の入札関係は、指名競争入札。入札制度を監理課でまとめて、今回一般競争入札。19年度一部一般競争入札を導入し、20年度より本格化」と総務委員会で説明があった。入札方法の選択は市町村の都合で選択するのではなく、法に示されている。八木地区は施行令第167条第3項を適用させ指名競争入札で施行した。継続事業である美山地区も、八木地区同様に、施行令第167条第3項を適用させ指名競争入札で施行しなかったのか法的な根拠と共に問う。	市長
			2. 美山地区入札は、一回目が不調。原因は予定価格内での受注が困難と辞退されたと聞いているが、同時期に他の自治体では「〇社」が「61.74%」で入札されている。南丹市でも、他の自治体と同様の競争が働けば、契約が可能な範囲と考える。南丹市では何故競争が働かなかったのか。また、契約の方法が他の自治体とどのような違いがあったのか。他の自治体の契約事例の数値と比較する中で見解を問う。	
			3. この契約を市長は、正当化する事に終始しているが、契約には、最小の経費で最大の効果が求められる。多額の浪費となった契約の流れを検証し、改善をする必要がある。他の市町村と比較すると高落札率になった原因をどのように認識しているのか。今後の契約に際し、どのように改善をしようとしているのか伺う。	

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答弁者
		市が発注する事業の、平均落札率は「８５．５％」と聞いている。予定価格の設定は条例で、実例価格等を考慮するように定められている。「９８．６６％」の落札率の結果をみて市長は最大の効果を最小の経費でできたと答えているが、この「９８．６６％」を適正な競争が働いた結果と云うことなら、予定価格の設定に誤りがあると言える。以上のことから、予定価格の設定や公表及び一社入札などの課題について。	１．仕様書に特定の企業に有利なものが含まれている。企業努力の範囲と云われているが入札の結果を見る限りでは、企業努力でカバーできる範囲を超えていると考えるが、企業努力の範囲とする積算根拠となる数字を問う。 また、根拠の数字を踏まえ「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律第３条第２項入札に参加しようとし、又は契約の相手方になろうとするものの間の公正な競争が促進されること。」に照らした見解を問う。	市長
			２．大阪府の橋本知事は、業界の実態、発注の実例から一社入札が増加し、競争性が阻害されることから予定価格の事前公表を中止した。予定価格の公表と一社入札についての認識を問う。	
			３．予定価格の設定には、実勢価格等の要件が条例で示されている。一般の工事は南丹市の場合「８５％」前後と聞いている。美山地区の高落札率を合理的と考えるなら予定価格の設定に問題があったと考えるが認識を問う。	
		契約には、天の声、業界の慣習など、適正な契約を阻む行為が各所で露見している。防災行政無線においても旧湯布院町では、町長の汚職、談合疑惑から住民による損害賠償訴訟が行われている実態をみると、契約の適正執行には、多くの課題がある。船井衛管は契約の改善で多額の経費削減を行った。執行者は、自らの行為を正当化する事よりも、同じ過ちを繰り返さない勇氣ある決意が求められる。市長の施政について。	電子通信機器は、一般土木に比べ技術革新が著しく、それに伴うコスト競争及びシェアの拡大も激しいなどを理由に、低入札価格調査基準価格を下回り落札された事例もある。業者が集まらず、競争が働かなかった原因には、特定メーカー仕様９件など、一般競争入札の理念とする公正性と機会均等性という視点から極めて不適切な項目が含まれ、発注段階で競争性が阻害されていた。また、業界全体の工事が重なっていたなどとの説明もあったが同時期に有利な発注をしている自治体の実例がある。他の自治体の平均落札率は「７８．１５％」となっているが一連の契約において、認識に甘さがあったと考えるが市長の認識を問う。	市長
	行政全般	適正な国保運営について	国の施策に国保の特別調整交付金の制度がある。２０年度は判定順位が府下で１７番目と云われているが、交付を受けるには首長の政治力とともに、判定基準を高める努力が必要と考えるが、今年度は交付に向けてどのような改善を図ったのか問う。	市長
		増加する医療費について	高齢化とともに、年々医療費が増加するが、健康づくりが医療費の抑制に繋がる。効率の良い行政組織と、的確な健康づくりが医療費の削減に繋がると考えるが見解を問う。	市長
		市民要望の実現について	市民が切望する施策は、道路整備を初め、八木駅の改修など多くあるが、臨時交付金を活用するなど、実現に向けた努力が必要と考えるが、市長の認識について問う。	市長
	環境施策	一般廃棄物処理と循環型社会について	川辺地区は、野鳥の飛来が激減したと云われている。地元では、監視委員会が設置されているが、法的な規制はもとより南丹市の自然環境の観点からの監視が求められる。一般廃棄物の処理が自然環境を損ねる処理をしているのでは適切ではない。自治体には自然環境を考慮した「循環型施設」での処理が求められる。既に蒸し焼きなど環境に配慮する施設も稼働しているが、現状認識と一般廃棄物の処理に対する認識を問う。	市長 岸上副市長

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答弁者
日本共産党 住民協働市会議員団 大西 一三 (質問予定日) 6月10日 午後	都市計画	本町中心市街地再開発について	1. 事業の進捗状況と事業完了見通しは。拠点施設をどのように考えているか。	市長
			2. 事業が進行するにつれ、住民の不安は増している。関係者だけでなく、広く市民への説明会など必要と考えるが。	
			3. 近隣商店街との連携、調和をどのように考えているか。	
	福祉	長生園での不明金事件について	1. 民事裁判に関わっても結審された。いまだ、約2,900万円は不明金のままであると考えるが、市長の所見を伺う。	市長
			2. 長生園理事会で「横領された利用料金」はどう協議されているか。当時の関係者の責任は。	
			3. 市としての指導、助言の内容とその後の対応について伺う。	
			4. 判決では「全588件のうち582件約2,900万円の不明金の発生は長生園とその幹部にある」と指摘している。今後、一層の真相究明の努力が必要と考えるが市長の所見を伺う。	

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答弁者
丹政クラブ 末武 徹 (質問予定日) 6月11日 午前	道路・橋梁改良	市道に架かる橋梁の老朽度等の点検について	1. 市道に架かる橋梁の老朽度・安全度の点検が順次進められているが、その進捗状況は。 2. 危険な橋梁は何ヵ所か。今後の補強・改修計画について伺う。	市長 担当部長
	公共事業	公共事業での地元業者への発注状況について	公共事業では、地元業者に出来るだけ優先的に仕事を任せるとのことだが、平成20年度、地元業者に発注した事業は、全体の何%か。 今後、地元業者が元気づく施策をどう進められるお考えか。市長の見解を伺う。	市長
	経済対策	「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」について	政府は、去る4月、21年度補正予算に「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」総額1兆円を編成し、各市町村への交付額を発表した。 南丹市へは、7億400万円と聞いている。この有効な活用方途について、市長の見解を伺う。	市長
丹政クラブ 川勝 眞一 (質問予定日) 6月11日 午前	農政問題 (施策)	農業振興について	農地取得・貸借の面積の大幅な削減についての市の考えは。 農家住宅団地などの事業計画についての考えは。 バイオマスと液肥などの構想について、市長の考えは。	市長
	行財政改革問題	南丹市総合振興計画（地域振興・生活基盤・都市計画）について	山陰本線複線化完成に伴い八木駅駅舎・周辺整備と吉富駅西土地区画整理事業についての市の考えは。 市内全体の市営バスの運行状況と園部・八木線の見直しを踏まえ八木町全体のバス運行形態の考えは。 新たな市街化区域の指定などを含む都市計画（区域）の見直しは。 南丹市都市計画審議会を設置されたが、市長の考えは。	市長
		21年度補正予算案「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」について	21年度補正予算案「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」の市としての使い方などの考えは。	
	環境施策	環境計画について	南丹市の「環境基本条例制定」の考えは。 南丹市の「環境基本計画」の考えは。 温室効果ガス排出量等調査を行われているが内容は。	市長